

平成31年第3回（臨時）高砂市教育委員会 会議録 要約

日時

平成31年3月13日午後7時30分

場所

高砂市役所西庁舎2階会議室

出席者

衣笠教育長、山名委員、吉田委員、神尾委員、布施委員

出席事務局職員

永安教育部長、阿部教育推進室長、瀧野学校教育室長、赤松学校教育室学校教育課長
都筑教育推進室教育総務課長

本日の会議に付した事件

報告事項

- 1 夏休みについて

議 事 報告事項 1 夏休みについて

○教育長 お手元の文書につきまして皆さんにご意見をいただけたらと考えていますので、説明させていただきます。

市内の学校の先生からのお手紙を見ていただきましたが、それについて今日、議会のそれぞれの会派の代表者の方が集まって話し合う代表者会議の中で、私が説明をさせていただきました。

その説明の中で不適切な発言があり、1人の議員さんから指摘を受けまして、私もそのときにはっとしたというか、遅いのですが、そのときにそのことに気づきまして謝罪はさせていただきました。

また、このたびは委員の皆様にもお忙しい中このように集まっていただいて、ご報告をさせていただいて、ご意見をいただきたいというふうに思いますので、また忌憚のないご意見をいただいて、そのご意見をしっかり受けとめて、今後自分自身の言動につきましてはっきりと注意していきたいと思っております。また、教育長としての発言というのはやはり大変重たいことであるということもしっかりと自覚ができていなかったということもありますので、そのあたりについても、もしご意見がいただけるようでしたらいただけたらと思いますのでよろしくお願い致します。

○委員A 私はこのお手紙を読ませていただいて、現場の先生方が現状を正確にご存じないのだなというのを正直感じました。私たちが感じている危機感、授業数が不足しつつあるなかで、なんとか子供達の学力を上げたいと、授業数を増やそうとしているのですが、そこところが現場の先生達に通じてないのかな、ご存じないのかなと思いました。ご存じないから、「何故増やさなければいけないのだ、十分なのに」ということで、校長先生にお聞きになったら、自分たちの意見というのがこちらの方に届いてこない。そういう状況の中でやっていたら、個人の意見がなかなか通らない場所というのは自然と組織立って意見をいわなければ物事は動かないという発想になると思います。ですから、校長先生に上げてこられる先生方がいらした場合は、できれば私たち教育委員会から直接お話に行って、同じ思いを持っていただけるように話し合いをして、現状を知っていただいて、共感はしていただかなくても、納得はしていただけたところまではお話していかなければいけないと思いますので、その辺のところをこれから努力していただければありがたいなと思います。よろしくお願い致します。

○委員B 教育長の発言は、不適切な発言でやはり問題があったと思う。先生方一人一人、きちんとした意見として聞いていくような形で、発言することに慣れていない先生方に対しても順番にでもひとりひとり意見を聞いていくような形で意見を拾い上げないと本当の声として伝わってこない。ただ、人の前で個人的意見を

言うのが苦手だとしている先生もおりますから、教育長から各校長先生へ、各校長先生から各先生方へ、個人個人はきちんと行き届くような形での話し合いができていくような環境を作っていかなければならないと思います。

○教育長 委員Aさんと委員Bさんのご意見を聞かせていただいて、改めて学校の教師としての発言というのを私がしっかりと認識できていなかったということで、当該の学校の先生が自分の思いを一教師として伝えていく、ひとりではなかなか力が出てこない場合には複数で校長先生に伝えていくということも、当然あっていいことですし、その方々が組合であったとしても関係のないことであって、それを伝えることで自分たちの職場の環境改善であったり、子供達への望ましい関係の持ち方というのを考えると、それはしっかりと受け止める。委員Aさんが言われましたけど、その先生方に偏見を持たずにしっかりと受け止めていく、そういった認識をしっかりともった上でないと、これからの学校運営、校長先生自身も困るということがあるのではないかとということを、改めて反省させていただくようなご意見をいただいたと受け止めております。

○委員C 私の経験から申しますと、現場にいるときに、特に管理職でないときにそうだったのですが、教育長さんが学校に来られると非常に緊張感があって、何かあったのかなと思ったりして全員が緊張しています。ただ、その教育長さんが校門に入ってそのまま校長室にスッと入ってしまうと、校長や教頭と話に来ているのだなとほっとする反面、ちょっと淋しかったりしました。というのは教育長さんとはなかなか話す機会もありませんので、折角来ていただいたのなら少しくらい話もしてみたいという時もありますので、そういうときに校長室に入ってしまうのではなくて授業をちょっと見るとか、緊張することではあるのですが、我々を見てくれている教育委員会だなど実感を持ったと思います。先程一人一人教師の思いを受け止めるべきというのがありましたけれども、まさしくそこに行きつくのかなと思います。現場の者はずっと歓迎ではない部分もあるかもしれませんが、集団、団体にならなくても耳を傾けてくれる、声をかけてくれる教育委員会、教育長さんであれば、先程ありましたように組合や団体を色眼鏡で見ることも少なくなるかと思しますので、もう十分に教育長自身の方からそういう風に考えておられることをうかがえますが、それを実行に移していただければいいのかなと思います。

○教育長 委員Cさんからご指摘いただきましたけれども、学校現場に行くことはそんなに多くはないですが行く機会があり、そのときに校長室に入って校長先生とお話させて頂いたり、教頭先生とお話させていただいたりすることはあります。その後、時間があれば学校を案内していただいて、教室の中を見せていただくことはありましたし、積極的にしてきました。ただ、そんな中で教室を見るだけではなく、先生方と一言でも交わすような、そういうことも大切かなと。私が新任の時に当時の教育長さんが、授業中をしているときに一言だけ、「頑張っ

ているか」とそれだけなのですけども、すごくうれしかったし、励みになったことを今思い出しています。そういう意味では頑張っている先生の姿が見えないままの発言だったと反省したところもあります。来年度、計画的に学校現場に訪問させていただいて、現場を見せていただいただけじゃなくて、できれば先生方とざっくばらんな形で会話をしたり、思いを受け止めたりするような機会を持ちたいなという思いがありますので、そういったことを考えていきたいと思えます。それも一つの私の姿勢を正すようなことにも繋がればと考えておりますので、そういったことも積極的にやっていきたいと思っています。貴重なご意見ありがとうございました。

○委員D 今回、私もこういう問題が起きるとというのが驚きだったのですけれども、実際今まで教育委員会の中で話し合いをした中で、この夏休み短縮についてはある程度スムーズに行くのかなと思ったのですけども、いろいろ指摘されている文章を見る限り、やはり学校の先生たちの意見があまり吸い取れていなかったなというのと、決まり事の前に伏線を張っておく必要もあったかなと。一般的な話において、ある程度コミュニケーションをとっておいて、スムーズに実施できるような形にするべきなのですが、コミュニケーションがあまりよくなかったために、今回みたいに、聞いていなかったとかそういう話で不信感につながったと思います。やはり教育委員会が校長先生と直接とっているだけではなくて、校長先生が持っている課題というのを吸い上げながら、先生方もコミュニケーションを良くしていけば、色々な新たな取り組みにあたっては、先生達も協力してもらえるとと思います。また、先生方から職場での問題や課題を吸い上げて出してもらえれば、こちらとしても考えをますます一体化して行って、今の教育委員会と現場の先生との信頼関係もさらに強くなっていくのかなと思いますので、もっと先生方と密に話ができるような体制がとればなと思います。これまでそれがちょっと足りなかったのだと思いました。

○教育長 ありがとうございます。確かに夏季休業の変更については、拙速なスケジュールで進めていったことによって、説明不足であり、時間もある程度かけてやっていくべきだったという部分が抜けていたということ、先生方の不満な部分の声を受けとめる姿勢にも欠けていたということが確かにあると思います。それと、校長先生方にも賛同を得られたということで受けとめていたのですが、校長先生の中には1人で抱え込んで、職員に説明することについても悩まれた先生もいられたかと思えます。そういう管理職の先生のケアというのも教育委員会の中でしっかりとやっていく必要があると思いますし、校長先生方、教頭先生方にきちとした形で関わっていけるのは教育委員会しかないと思います。管理職の先生がいきいきとしていけば、先生方もいきいきと活動してくださるし、先生方がいきいきと活動してくだされば、子供たちもいきいきと活動もでき、学校全体が活気のある形で楽しい学校になることを、頭の中ではわかって

いるつもりでしたが、その点が疎かになっていましたので、学校との信頼関係、先生方との信頼関係をつくることによって子供たちが望ましい形で教育を受けられるように努めてまいりたいと思っております。ほんとうにご意見ありがとうございました。休憩中に、改めるという言葉が私が使わせていただいたのですが、根本的な思いが改まらないと、またそういった発言につながってしまうということをご指摘いただきました。そういった意味でも全体の先生方とコミュニケーションを積極的にとれるような姿勢は持っていかなければならないですし、信頼関係、人間関係を築いていきたいというふうに思っておりますのでよろしくお願いいたします。それと自分のことを棚に上げて言いにくいのですが、私をはじめとする教育委員会の職員につきましても、そういった姿勢で現場との関係をしっかりと築いておくようにしてまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○委員A これは他市の話ですけれども、教育委員会自身が新任の先生方全員と懇談をする、それから5年目になった先生たち、そして10年目になった先生たちというふうに、直接教育委員が懇談して話をできる機会をとっていらっしゃるのを幾つか聞いたことがあります。私たちでできることがありましたら言っていただけたら、どんどん積極的に動きたいと思っておりますのでお願いいたします。

○委員D 相互理解というのはやっぱり必要だと思います。私たちが考えていることは先生たちも同じ考えを持っているかといったら、そうではないということが今回のことでよくわかったので、先生たちと直接話をすればその辺の誤解もなくなるかもしれないですし、よりよい関係になるのではないかなと思います。

○教育長 教育委員さんと若い先生との懇談等を持っている自治体なんかあるようですので、そういったことも、新任の先生も緊張はするでしょうけど、私の経験からもうれしかったという思いがありますので、そういった機会ももっていければなと思っておりますのでよろしくお願いします。事務局何かよろしいですか。

○事務局 このたびの進め方の拙速という部分に関しましては、私も統括する立場として、もう少し私自身も現場に行くなり現場へ情報を出すという指示をするなり、色々やり方があったのではないかなと、ここ数カ月思っているところでございます。今回のことに対しては時間は戻せませんので、今後十分、現場の先生方に理解していただくように努力いたしまして、このほかの部分につきましても、今回のことを反省いたしまして、できるだけ現場の先生にも理解していただくように、出せるものはどんどん出して行って、ご意見は当然出てくると思っておりますので、その意見が出てくることを怖がらずに意見を出して、十分説明、議論させていただきたいと思っておりますので、今後ともよろしくご指導よろしくお願いいたします。

○教育長 よろしいでしょうか。では、きょうは急にお集まりいただいて、ほんとうに申しわけなく思っております。今後、各委員の皆さんが言われたこともしっかり

と受けとめて今後やってまいりたいと思いますので、今後ともよろしくお願
いいたします。ありがとうございました。

平成31年3月13日 午後9時09分 教育長会議の閉会を宣告
